



育児は育自

「生まれてきてくれてありがとう」。1月に長男を出産し、私は母親になりました。その時、母に「子どもは授かるのではなくて預かるんですよ。これから社会

に返していけるような子に育てていかなあかん。」と言われ、初めて母親としての責任を感じました。

それから、9カ月。初めての育児で毎日が精いっぱいです。ほかの子と比べてしまったり、些細なことで不安になったりすることもありました。でも、そんな私の心配をよそに、息子は自分のペースでどんどん成長しています。私の好きな言葉に金子み



桑野町
榎原香容子さん

ずさんの「みんなちがって、みんないい」という言葉があります。私は小学校教諭という職業柄、多くの子どもたちと接する機会があります。今までもこの言葉のように、それぞれの長所を伸ばしていきたいと思いましたが、親になつて少し感じ方が変わりました。勉強がでなくても、運動が苦手でも、先生にいつも怒られていても、

やっぱりどの子も大切な存在。特別なことができなくてもいい、その子がその子でいるだけで、

生きているだけでスペシャルなんだと。

「育児は育自」。自分をここまで育ててくれた家族に感謝しながら、子どもとともに成長していきたいと思えます。

次は、羽ノ浦町の仁尾和子さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌大会選

野放主にのびたる松を切り揃え夜明け間近かに雨降りしきる
小熊 節子

遠く住む兄弟三人会はせたまふ母の魂法要の席
森 マスミ

子らの声久しく聞かぬこの里にレンゲ・菜の花・タンポポの咲く
山西 成彬

七桁を一瞬に読み宙を飛ばす賀状仕分けのニユースも瞬時
青木新太郎

招かざる黄砂PM2.5負けじと桜今盛りなり
米田 啓子

耳底に残る言葉を反芻しバックミラーは来た道映す
吉永賀代子

やはらかく降り継ぐ雨に一叢の芍薬も赤く芽立ち初めたり
和泉 正信

俳句

阿南市俳句連合会選

大地より虫の音のわく爆心地
河内 順子

蝉しぐれちよつと一服しませんか
田村 英人

傾いているのが案山子かもしれぬ
加藤 和子

新涼や三陸久慈の海女在所
田村比斗志

新涼に夜具を手さぐる夜明かな
田口恵美子

新涼や山合い透けて風通る
佐野八重子

乳呑み児の泣きまねする児赤トンボ
野田 愛子

満月や鈴ふる巫女のおさな顔
中川よし子

カーテンのすき間より入る月明り
吉崎 晶子

鈴虫を母に預けて登校す
宮繁ただし

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

早食いの子供を褒めるバイキング
酒本 敏博

この荷物オレが持つよと頼もしい
佐野 智子

お帰りと駅がやさしい顔をする
原 公美子

雨垂れの私語を聞いている隠居部屋
野村 敏子

アナログで育ち五感が澄んでいる
持木 寿栄